

2022年6月8日

各位

株式会社 紀陽銀行

**和歌山県公募事業（企画コンペティション）  
「令和4年度 和歌山県DXチャレンジサポートプログラム実施業務」の受託について**

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、和歌山県の公募事業（企画コンペティション）「令和4年度和歌山県DXチャレンジサポートプログラム実施業務（以下、本業務）」を受託しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本業務は、和歌山県の令和4年度新政策「わかやまデジタル革命推進プロジェクト」の導入支援業務として実施されるもので、規範となるDX（デジタルトランスフォーメーション）のロールモデルを創出し、その成功事例を集積・発信することで、県内企業のDXを推進することを目的としています。当行は、そのために必要となる伴走支援や情報発信をおこないます。

紀陽銀行は本業務を通じ、県内企業のデジタル化に向けた支援をおこなうとともに、和歌山県における地域のDX推進に貢献してまいります。

記

受託業務名	令和4年度 和歌山県DXチャレンジサポートプログラム実施業務
業務実施期間	2022年5月20日～2023年3月31日
業務内容	2022年7月上旬 DX伴走支援プログラムの参加企業公募開始 説明会の開催 2022年7月下旬 DX伴走支援プログラムの参加企業公募締切 2022年8月上旬 DX伴走支援プログラムの参加企業選抜 （審査会により3社程度を選抜） 2022年8月中旬～2023年2月中旬 DX伴走支援プログラムの実施 2023年2月下旬 成果発表会（デモデイ） プログラム参加者へのアンケートの実施 2023年3月中旬 成果報告書 （県内企業のDXを加速するにあたっての見解・提言）の納品
支援プログラムの参加対象企業	下記2点に該当する事業者 ①和歌山県内に事業所を所有していること及び雇用保険適用事業所の事業者 ②地場産業分野（繊維、化学、機械金属、食品加工、家庭用品、情報通信）、 または観光分野（宿泊、小売、卸売）の事業者

以上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。



<ご参考>

和歌山県では、令和4年度の政策の柱として「新しい世界で活躍する和歌山」を掲げ、社会全体でDXを推進し、県内産業を成長させる取り組みを実施しています。特に、競争力強化と優位性の確立のため、新たに「わかやまデジタル革命推進プロジェクト(以下、本プロジェクト)」として、「機運醸成・啓発」「診断(現状把握)」「技術習得」「導入支援」など、県内事業者のDX実現に向け、一貫した支援を実施しています。

本件は、本プロジェクトの「導入支援」の一環として実施される事業です。

<わかやまデジタル革命推進プロジェクト 概要>

### わかやまデジタル革命推進プロジェクト

- 競争力強化と優位性確立のため、「わかやまデジタル革命推進プロジェクト」として、**県内産業のDX実現**に向けて一貫支援

#### ① 機運醸成・啓発

- デジタルシンポジウム  
・県内事業者のデジタル化への機運を醸成
- DXセミナー
- 先進企業事例集

#### ② 診断(現状把握)

- デジタル経営診断 **当行受託**  
・デジタル診断ツールによるデジタル経営診断を実施
- DX推進員配置  
・デジタル経営診断の実施をフォロー

#### ③ 技術習得

- DX推進講習  
・デジタル技術や経営変革手法を習得する講習を  
企業ニーズに合わせて開講

#### ④ 導入支援

- DXチャレンジサポート **当行受託 ※本件**  
・DX支援実績を有する専門家による伴走支援
- デジタル専門家派遣
- デジタル化補助金  
・補助対象業種を拡充

出典:和歌山県 令和4年度 新政策 参考資料